

博士論文を探す

リサーチ NAVI 早稲田

検索

<http://www.wul.waseda.ac.jp/research-navi/>

リサーチ NAVI
No.4
早稲田大学図書館
2017.4.28

早稲田大学を含む国内・海外の博士論文(学位論文)を探し、入手する方法を紹介します。

博士論文とは

博士論文(はくしろんぶん、はかせろんぶん)とは、博士学位を取得するために提出され受理された学位論文です。博士論文は、以下のように所蔵・提供されています。

- A. 論文が提出された大学の図書館等で所蔵
- B. 各国の国立図書館等で所蔵(日本の場合は国立国会図書館関西館)
- C. 論文が提出された大学の WEB サイト(機関リポジトリ)などで無料公開(主に近年受理されたもの)
- D. 一般の書籍として販売
- E. 専門の業者による販売(主に北米の博士論文)

早稲田大学の博士論文

早稲田大学の博士論文は図書館(本庄保存書庫)で所蔵しており、ほぼすべて WINE で検索が可能です。2002 年度以降の著者の許諾を得た論文、および 2013 年度以降のほぼ全ての論文は、[早稲田大学リポジトリ](#)にて、Web 上で公開されています。冊子体を利用する際は、中央図書館やキャンパス図書館へ取寄せる必要があります。詳しくは、[早稲田大学学位論文の検索と利用方法](#)をご覧ください。

また、研究科別に論文の概要(タイトル等)を一覧したい場合は、各研究科事務所等でご相談ください。ネット上での本文公開許諾が得られているものについては、[早稲田大学リポジトリの Index List](#)にて研究科別に一覧することができます。

国内他大学の博士論文

○ 各大学の図書館を利用する

各大学の博士論文は、それぞれの大学の所蔵目録や博士論文の検索システムなどで調べることができます。2013 年 3 月の学位規則改正により、2013 年 4 月 1 日以降に学位授与された博士論文は、原則としてインターネットで公表されることになりました(2013 年 3 月以前に提出された博士論文は、著作権者の許諾を得たもののみ)。ネット上で利用できない場合は「訪問利用」と「複写依頼」があります。

訪問利用を希望する場合は、各大学(図書館)のホームページなどで利用方法を確認しましょう。紹介状や事前の問い合わせが必要となる場合があります。

複写依頼の場合、一部分を希望の場合は全体の半分以下(著作権法による)となります。全ページを希望される場合、著作権者の許諾が必要となる場合があります。

■ [学外図書館の利用](#) (図書館 Web サイト)

他大学図書館への訪問利用や、資料の取寄せ方法、図書館協定校の利用に関する案内もあります。

○ 国立国会図書館を利用する

1923 年 9 月以降の博士論文を所蔵しています。印刷物は国立国会図書館の蔵書検索 [NDL-OPAC](#)(詳細検索の資料種別で“博士論文”を選択)で、電子形態は [国立国会図書館デジタルコレクション](#) で検索可能です。印刷物・電子形態両方まとめて検索する場合は、[国立国会図書館サーチ](#) をご利用ください。

詳しくは、以下のサイトをご参照ください。

■ [国内博士論文 | 調べ方案内](#) [国立国会図書館] (一般 Web サイト)

国立国会図書館作成の国内博士論文利用についてのガイド

○ ネット上で公開されているものを利用する

■ [JAIRO \(Japanese Institutional Repositories Online\)](#) [国立情報学研究所] (一般 Web サイト)

日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報(学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等)を横断的に検索できるサービス。学位論文のみに絞って検索が可能。本文全文の利用ができるものが多いがすべてではないので注意が必要。

■ [CiNii Dissertations](#) [国立情報学研究所] (一般 Web サイト)

国内の大学および独立行政法人大学評価・学位授与機構が授与した博士論文の情報を検索できるサービス。国内の大学等学術機関のリポジトリで公開されている博士論文、国立国会図書館が所蔵する博士論文について一元的に検索が可能。本文がデジタル化されていれば、リンクを辿り、本文まで表示することができる。

海外の博士論文

海外の博士論文を探す場合、学位が授与された大学やその国の国立図書館などに当たる方法がまず考えられます。近年はインターネットで全文が公開されていることも増えていますが、全文が閲覧できない場合は、データベースや販売店を利用/経由し、購入する方法があります。購入できない場合には以下もご検討ください。

- A. 現物(冊子版、マイクロフィルム版)の借用依頼
- B. 全ページ複写(購入)
- C. 訪問利用

○ ネット上で公開されているか調べる

■ [ProQuest Dissertations & Theses Global \(PQDT Global\)](#) (大学契約データベース)

欧米、主にアメリカ、カナダの学位論文(博士論文と修士論文)のデータベース。著者の許諾が得られているものについては本文全文が収録されている。

■ [Networked Digital Library of Theses and Dissertations \(NDLTD\)](#) (一般 Web サイト)

北米を中心に世界で 70 機関以上が参加する NDLTD のデータを利用した電子学位論文(ETD)の検索・閲覧サイト。国や言語から検索・一覧でき、全文が利用可能なものもある。

■ [WorldCat.org](#) [OCLC] (一般 Web サイト)

世界最大の書誌データベース。Advanced Searchにて Thesis/Dissertation に限定した検索が可能。書誌情報だけでなく、その資料の所蔵先を調べることも可能。

○ 購入する

■ [Dissertation Express](#) [ProQuest] (一般 Web サイト)

ProQuest 提供の学位論文の検索販売サービス。国内正規代理店であるサンメディア社のサイトから利用できる。メール・Fax にてサンメディア社に論文の入手を依頼することが可能(個人による申し込み)。

■ [丸善雄松堂 学位論文センター\(YDSC\)](#) (一般 Web サイト)

米・仏などの学位論文の検索・購入を依頼できる。

○ その他

■ [NDL-OPAC](#) [国立国会図書館] (一般 Web サイト)

国立国会図書館では、日本の博士論文だけでなく海外の博士論文も所蔵。関西館では、主に科学技術分野の欧米博士論文、東京本館では、人文・社会科学分野で日本関係の主題を扱った博士論文を所蔵。

■ [海外博士論文\(総論\) | 調べ方案内](#) [国立国会図書館] (一般 Web サイト)

総論だけでなく、世界各地域別のガイドへのリンクが充実。

■ [学外図書館の利用](#) (図書館 Web サイト)

他大学図書館への訪問利用や資料の取り寄せ方法について。海外ILL(海外図書館からの資料の取り寄せ)に関する案内もあります。